



撮影地:京島

特集 百花のまちすみだ

草花を通じた まちのコミュニケーション

下町風情の残るすみだでは、狭い小道や家の玄関先に並んでいる路地園芸を見ながら、まちを歩くのも楽しみみのひとつです。まちのいたるところで、個性あふれる四季折々の路地園芸と出会うことができます。

江戸時代にも、庶民の娯楽として、園芸の一大ムーブメントがあり、今では一般的になった園芸の技術もこの頃急速に発展していききました。

そういった日本の下町の園芸を舞台に描かれた浮世絵が、西洋の芸術家たちを魅了して、モネやゴッホに大きな影響を与えたのも有名な話です。

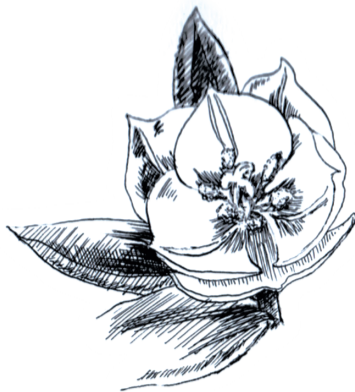
浮世絵の題材にも登場する園芸のまち「すみだ」では、江戸時代の庶民に親しまれていた向島百花園、小村井香取神社の梅、さらに墨堤や隅田公園などの桜、緑と花の学習園など、まちのいたるところに草花を楽しむスポットが点在しています。

今号の特集では、植物を通じてのご近所づきあいと開かれたまち。そして新たなすみだの観光として、色彩溢れる豊かなまち作りに向けて活動している人々たち。江戸の園芸ブーム。すみだの植物を楽しむスポットなどを紹介します。

植物を育てたり鑑賞することは、個人の楽しみにとどまらず、近隣住民とのコミュニケーションやまちの景観にまで結びつく効果があります。

まちを巡り、ぜひ自分だけの癒しのスポットを探してみてください。





百花のまち すみだ

草花を通じて、まちと人をつなぐ人々

江戸からつながる園芸文化、大学の研究、世界で活躍するフラワーアーティスト、都市の緑化計画とそれぞれの立場から草花を通じてまちの人たちとコミュニケーションを図る達人たちにお話を伺いました。



株式会社 Hideyuki Niwa Design Office

花・植物を用いたデザインオフィス。企画、提案、施工、運営。ワークショップ、レッスンの開催。
ホームページ: <https://hn-design.co.jp>
Instagram: [hideyuki_niwa](https://www.instagram.com/hideyuki_niwa)
Facebook: [@HideyukiNiwaDesign](https://www.facebook.com/HideyukiNiwaDesign)
Youtube Channel: [Hideyuki Niwa Design](https://www.youtube.com/channel/UC13-2)
墨田区石原1-3-2 TEL:03-6284-1673

「人々が潜在的に持つ、花や植物を見て美しいと思う感性を大切に育てたい」というフラワーアーティストの丹羽英之さんは、日本の花文化を世界へ発信し、交流を深めることを目的に、世界を舞台に活躍しています。

2012年にベルギー・ブレンネー(Top of Flower Art '12)最優秀賞「ゴールドリフ賞」、(社)日本生花通信配達協会主催「ジャパンカップ2013」優勝、内閣総理大臣賞、シシガポリールガーデンフェスティバル2016「フローラルアート部門」ゴールドアワード賞など数多くの受賞歴を持ち、国内外で作品展示やワークショップを行っています。

世界を舞台に活動する丹羽さんが、2020年に墨田区石原に「(株)Hideyuki Niwa Design Office」を立ち上げました。

「町風情がありながら、東京スカイツリーや浅草などが近いこともあり、外国の方にもシンボリックであ

育てていきます。コロナ禍の中、土や草花に触れることで暮らしていることに少し見つけてもらえれば」という久保田さん。

すみだ生涯学習センターの協力を頂きながら、ユトリヤの敷地内を皮切りに、向島エリアを中心に朝顔サポーターショップを募り、カフェなどお店の軒先で朝顔を育ててもらい、まちに広げていく計画を進めています。

「ユトリヤの講座を通じて、まちに向島百花園ゆかりの花を広げるきっかけができました。今後は、少しずつ広げて百花園ならではの四季の草花で商店街やまちのイベントにもつながる活動をして、まちの活性化やすみだの顔のひとつにまで成長させていければという思いがあります」と夢を語る久保田さん。

今後は、向島「庭つながり」の活動を組織化して、すみだ生涯学習センターをはじめ、地域の企業や商店、大学、博物館なども連携をして、草花を通じての地域植物によるまちづくりの研究・実践など文化の側面からも活動をしていきたいと思います。

国境や人種を超え、日本の花文化を世界へ発信

フラワーアーティスト 丹羽英之



【プロフィール】
久保田 暁(くぼた あきら)
1961年墨田区生まれ。広告会社に30年間勤務したのち、庭師を目指し造園業界へチャレンジ。現在、向島百花園の非常勤職員のほか「庭つながり」の屋号でフリーランスとして庭・園芸文化を広める活動を行っている。

向島百花園ゆかりの花でまちをつなぐ

久保田 暁

緑が暮らしに寄り添うまちづくり

本多 秀行

行政のまちづくりや公共、教育分野で、会議の運営支援計画書を作りまとめる仕事に携わる本多秀行さんは、造園を学んだ経験により、自治体が緑地の保全や緑化の推進を図る「緑の基本計画」に携わることもあると語ります。

本多さんは、会社に勤めながらも並行して地域活動にも積極的に関わり、イーストコア曳舟駅前広場で開催されているすみだ青空市ヤッチャバの運営や石川・能登半島の「里山まるごとホテル」での活動等を通じて、すみだと地方の「食」や「暮らし」の交流を活発に取り組んでいます。

「里山まるごとホテルで人気のシアーズスケキは、墨田区の『東向島珈琲店』のご協力により実現したメニューで、能登の里山で採れたフルーツをソースにしています。東向島珈琲店のオーナーとは、山菜や果物を採りに里山に足を運んでいます」と地方とすみだを結び本多さん。

ヤッチャバを通じて、全国の農産物や花の販売、墨田区と千葉県多古町の子どもたちとの田植え体験などの交流を育んでいます。



【プロフィール】
本多 秀行(ほんだ ひでゆき)
すみだ青空市ヤッチャバ代表、里山まるごとホテル・つなぐ里山RO. 会社員、二児の父。行政のまちづくりに携わりながら、人とのつながりの中で青空市の運営や里山の保全・活用に取り組んでいる。趣味はサッカー。

ハープを通じて、まちの人たちと交流を深める千葉大生

千葉大学工学部デザインコース 環境デザイン研究室

2021年4月1日、墨田区文化二丁目に千葉大学墨田サテライトキャンパスが開校しました。同大学の環境デザイン研究室では、地域との連携で学びながら「コミュニティ」を形成していくことを目的に、「すみだプロジェクト」を立ち上げています。

そのプロジェクトでは、子どもたちが遊びながら社会を学ぶ「キラキラプロジェクト」が開設しました。同大学の環境デザイン研究室では、地域との連携で学びながら「コミュニティ」を形成していくことを目的に、「すみだプロジェクト」を立ち上げています。

「グリーンズ」は、植物を介した地域「コミュニティ」の形成を目的に活動を行っています。地域の住民やそこで働く人々たちをつなぐ「職住近接をテーマとして、2019年10月に、(株)竹中工務店と共同研究契約を結び、八広地域「フザ吾妻の里」の協力のもと、地域交流活動の取り組みを開始しました。

共同研究で栽培された植物を、この取り組みに協力をいただいている浜野製作所へ届けられています。

「浜野製作所さんでは、職場での野菜栽培の効果、野菜栽培器具の開

発、職場での癒し効果の検証にご協力頂いています」と環境デザイン研究室助教の今泉博子さん。

キラキラ橋商店街では、「植育」活動を通じて地域「コミュニティ」の活動が行われています。多世代交流の場でもある「キラキラ茶屋」で水耕LEDで栽培したハーブの販売をするということも、地域のお店の協力を得て、店舗でのハーブ栽培を行っています。

「会員制として、商店街のお店に協力をいただいています。今は協力店は7店舗ですが、今後、少しずつ増やしていきたいです。グリーンズの名前が地域に定着したらうれしいですね」と学生の國井瞳さん。

國井さんは、商店街をめぐり、店舗に設置された植物の手入れや管理方法のデザインを研究しています。お店で育てられたハーブは、料理のメニューにも利用されているそうです。

「すみだの人たちは、あたたかく私たちを迎えてくれました。植物を通して、環境、地域「コミュニティ」なご、まちの中で学生たちに色々と学んでもらい、地域の方々との交流を深めてもらいたい」と環境デザイン研究室教授の原寛道さん。



千葉大学工学部デザインコース 環境デザイン研究室

企業との共同研究、科研究、地域とのつながりをフレームとし、学生メンバーが現場のリアルティにふれながらデザインできる場を用意し、その過程で対象地に良い状況を生み出せるよう、常時複数のプロジェクトを進めています。
ホームページ: <https://www.f-eng.chiba-u.jp/ed/>
墨田区文化1丁目19-1

新型コロナウイルスの感染症の拡大防止のため、開館・開館時間の変更や臨時休館・休館の場合がありますので、予めお電話、ホームページ等のご確認の上お出かけください。

ユトリヤで地域とつながろう!
すみだの企業が支えるニュースポーツ!
「BASEBALL5」のレクチャーと
パラリンピック公式種目「ボッチャ」の試合体験

サポート ナガセケンコー株式会社

日	時	7月10日(土)	14:00~15:30
場	所	すみだ生涯学習センター・ホール	
定	員	24名(抽選)	
対	象	どなたでも(区民優先)	
受	講	料	500円(保険料込み)
締	切	6月20日(日)	

【お申込方法】
●往復はがき 講座名、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号をご記入して申込先へ送付してください。
●ホームページ すみだ生涯学習センターHP内の申込フォームから
●お申込・お問合せ先 すみだ生涯学習センター事業課
〒131-0032 東京都墨田区向島2-38-7 TEL:03-5247-2010 <https://www.yutoriya.jp>

「ボッチャ」 「陸上のカーリング」とも呼ばれ、「年齢や障害の有無にかかわらず、誰でも気軽に楽しめるユニバーサルスポーツ」として注目を集めています。

水耕 LED 栽培
メンバー募集中

苗販売・相談も

キラキラ茶屋で
毎週金曜日13:00~15:00開催
緑を育てて楽しみ仲間を増やします。
育てたハーブや野菜をお店などに送り出し街を活性化させます!

- 参加費 4ヶ月間500円
- 特典 収穫物持ち帰り・栽培講習
- 苗販売 1株200円

【問合せ先】
●メール edlab.plant@gmail.com
●会場 キラキラ茶屋 東京都墨田区京島3-46-18

千葉大学墨田キャンパス
環境デザイン研究室植物チーム

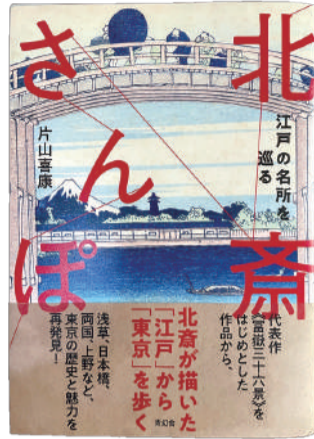
夢を夢で終わらせない信用金庫
東京東信用金庫
<https://www.higashin.co.jp>

墨田区内店舗一覧

- 本店
- 隅田支店
- 隅田支店堤通出張所
- 吾妻支店
- 本所支店
- 押上支店
- 両国支店
- 駒形支店
- 錦糸町支店
- 八広支店
- 向島出張所 (ATM)
- 橋銀座出張所 (ATM)
- 東京スカイツリー・ソラマチ出張所 (ATM)
- 墨田区役所出張所 (ATM)
- 本所出張所 (ATM)

ひがしんマスコット ひがびよん

墨田区の路地裏園芸散策



北斎さんぽ
発行:株式会社青幻舎
定価2200円(税込)好評発売中

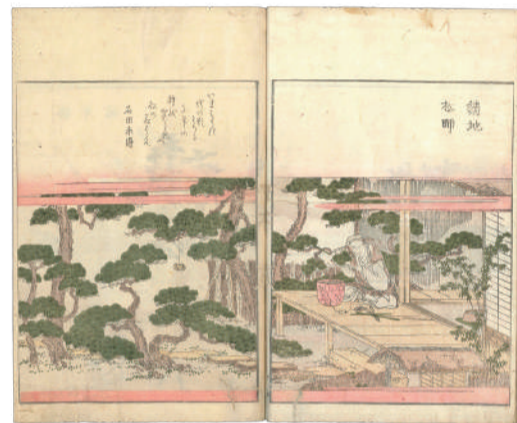


【プロフィール】
片山喜康(かたやまよしやす)
1950年浅草生まれ。現在、向島にて編集事務所を営む。江戸名所を巡る「北斎さんぽ」著者。東武鉄道広報誌「マンスリーとーび」に「北斎美術観絵図散歩」の奥の細道を歩く」連載。

江戸時代、向島や請地界隈には多くの植木屋や盆栽園が点在し、この「松師」とは盆栽や植木に仕立てる松を専門に扱う庭師のことだろう。北斎の作品としては地味ではあるが、風流な江戸園芸の世界をうかがい知ることができる貴重な資料としても注目。



旧地名が使用されている「請地児童遊園」



『画本東都遊 請地松師』葛飾北斎画 (すみだ北斎美術館 所蔵)

すみだの園芸文化を今に伝える 北斎の異色作

片山喜康

享和2(1802)年に鷹屋耕書堂から出版された『画本東都遊』(全3巻)は当時の江戸の名所を描いた葛飾北斎の作品に狂歌を添えた観光案内のような絵本だが、その中でも『請地松師』は異色な作品である。
「請地」とは一般的に、荘園などの領地を管理していた地頭や荘官が、領主の年貢の納入を「請け負っていた土地」の総称だが、この作品では江戸時代から昭和39(1964)年まで墨田区にあった向島請地町(現・向島4〜5丁目、押上1〜2丁目)という地名を思われる。東武鉄道伊勢崎線にも昭和24(1949)年まで「請地」駅が、現在のとうきょうスカイツリー駅と曳舟駅間にある伊勢崎線第2号踏切付近にあった。

縁側では赤匠頭巾(アカシヤウジ)姿の男が口に咥えた紐を鉢植えの松にかけ、枝ぶりを整えており、傍らには植木鉢などの道具が見える。庭の松の枝からは盆栽でいう懸崖造り(枝を垂れ下がったように仕立てる方法)のための重しが下がっている。

江戸時代、向島や請地界隈には多くの植木屋や盆栽園が点在し、この「松師」とは盆栽や植木に仕立てる松を専門に扱う庭師のことだろう。北斎の作品としては地味ではあるが、風流な江戸園芸の世界をうかがい知ることができる貴重な資料としても注目。



隅田堤桜盛 深斎英泉 (個人蔵)

江戸時代、向島や請地界隈には多くの植木屋や盆栽園が点在し、この「松師」とは盆栽や植木に仕立てる松を専門に扱う庭師のことだろう。北斎の作品としては地味ではあるが、風流な江戸園芸の世界をうかがい知ることができる貴重な資料としても注目。

浮世絵で観る、江戸に栄えたすみだの園芸

すみだで四季折々の花を楽しめる場所のひとつに、向島百花園があります。向島百花園は、仙台東出身の骨董商 佐原鞠場(さばらきんこう)がもと「多賀屋敷」と呼ばれていた土地を入手し、1804年(文化元年)に開園しました。360本の梅の木を植えたことから、「新梅屋敷」、「花屋敷」と呼ばれていました。1809年(文化6年)頃より「百花園」と呼ばれるようになり、文人墨客が集うサロンとして愛用されていましたが、次第に市民にも親しまれるようになってきました。



東都名所年中行事 八月向しま花屋敷 秋の花ぞの 歌川広重 (すみだ郷土文化資料館蔵)



東都三十六景 向しま花屋敷七草 二代歌川広重 (すみだ郷土文化資料館蔵)



めでたいぶ かけてもらいたい 歌川国芳 (たばこと塩の博物館蔵)



曆中段づくし 意勢固世身見立十二直閉 菊月神明祭 三代歌川豊国 (たばこと塩の博物館蔵)



隅田川浮世の鏡 一恵斎芳幾 (たばこと塩の博物館蔵)

伝統あるすみだの園芸グッズ

銅製如雨露製造メーカーの(有)根岸産業は、1944年に神社仏閣の屋根の職人だった初代が、トタンで園芸金物を製造する会社として創業。1966年に2代目が銅・真鍮・ステンレスによる園芸用如雨露を製造。銅の殺菌力により水を腐りにくくし、銅イオンの効果により、植物の生育が良くなると、日本の園芸愛好家にとどまらず、世界各国でも利用されています。2006年に天皇陛下に、特別注文品を制作・ご購入をいただく。2010年にすみだモダンブランド認証を受ける。

根岸産業株式会社
東京都墨田区堤通1-17-30
TEL:03-3611-2959
http://www.negishi-joro.co.jp



銅製如雨露を持つ、スイスの「Negishi Sushi Bar」のヘッドシェフ Joroさん(撮影地:銀座)

すみだベリー

農地の少ない墨田区内で、たわいストロベリー。特別品種改良は、スカイツリーに反射した太陽光と、墨田の雨水で栽培されているといわれています。



新型コロナウイルスの感染症の拡大防止のため、開館時間の変更や臨時休館の場合がありますので、予めお電話、ホームページ等のご確認の上お出かけください。

北歐・北米の薪ストーブ専門店
FIREWORLD 株式会社 永和
〒131-0043 東京都墨田区立花4-25-5
TEL:03-3616-2871 FAX:03-3616-2872
営業時間:月~金 10:00~18:00/土・日・祝 10:00~16:00
定休日:年末年始・GW・夏休み
https://www.fireworld.co.jp

すみだ 北斎美術館
観覧料
AURORA (常設展示室) 一般400円
高校生・大学生・専門学校生・65歳以上 300円
企画展は展覧会ごとに異なります。詳しくはホームページをご覧ください。
開館時間 9:30~17:30 (入館は17:00まで)
休館日 月曜(祝日、振替休日の場合は翌平日)、年末年始
住所 東京都墨田区亀沢2-7-2 TEL 03-6658-8936 (9:30~17:30休館日除く)
HP https://hokusai-museum.jp

すみだ 郷土文化資料館
企画展
すみだのスポーツの殿堂 ~国技館のあゆみ~
第1期 2021年5月22日(土)~6月27日(日)
第2期 2021年7月8日(木)~9月5日(日)
特集展示
両国・回向院 ~供養と盛り場~
2021年4月24日(土)~9月20日(祝・月)
入館料 100円/中学生以下、障害者各手帳をお持ちの方は無料
開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
休館日 月曜・第4火曜・8月10日(8月9日、9月20日は開館)
住所 東京都墨田区向島2-3-5 TEL 03-5619-7034

たばこと塩の博物館
入館料 大人・大学生100円/小・高校生50円
開館時間 11:00~17:00 (入館は16:30まで)
休館日 月曜(祝日、振替休日の場合は翌平日)、臨時休館(7月13日(火)~16日(金)・11月16日(火)~2022年1月11日(火))
住所 東京都墨田区横川1-16-3 TEL 03-3622-8801 HP https://www.tabashio.jp

すみだ 商店街めぐり

スカイツリーを觀賞しながらお買い物
タワービュー通り商店街

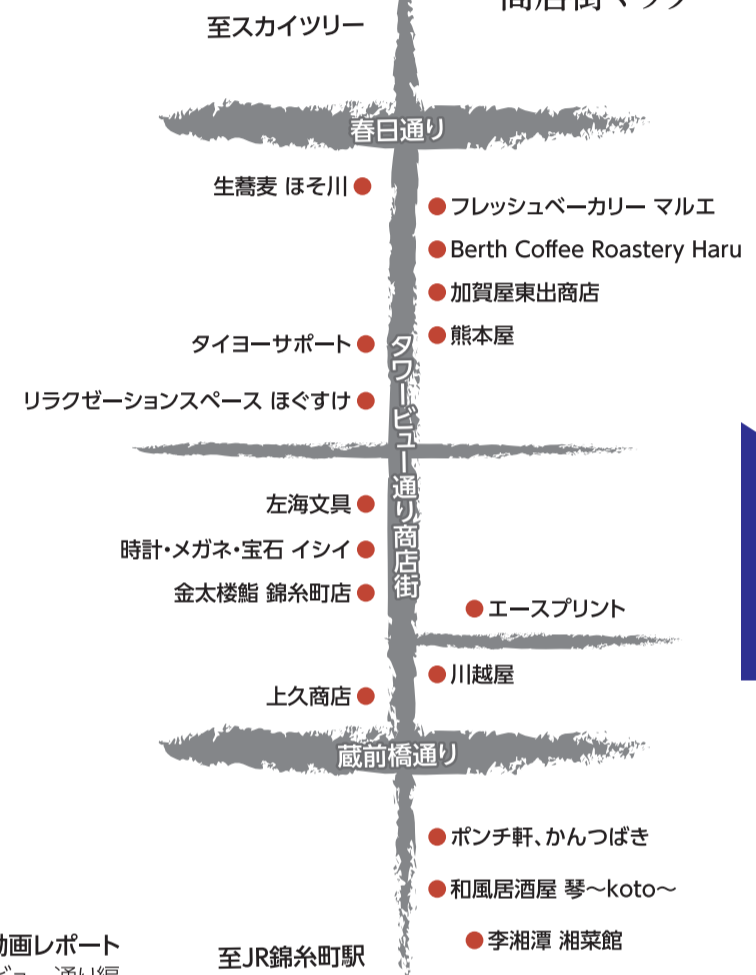
目の前に大きくそびえる、東京スカイツリーに向かい、錦糸町北口駅前から押上までまっすぐに伸びているタワービュー通りに位置する、「タワービュー通り商店街」は、かつて、蔵前通りから春日通りにかけて、「夜店通り地蔵会」として長年にわたり地域の人たちに親しまれていました。その歴史は古く、戦前から商店街として賑わいを見せていて、雑貨、洋品、生鮮食品など多くの商店が軒を連ね、縁日では夜店が開かれていました。

近年では、店主の高齢化に伴い、ビルやマンションに姿を変え、2020年には商店街加入店は、4店舗まで激減しました。

2016年にタワービュー通りの整備工事が終わり、電柱の地中化などその風景も大きく様変わりしたことで、「新たにこの通りにふさわしい名前の商店街として、頑張りたい」と決意して、商店街名を2020年10月に改名しました。商店街会長の東出四郎会長を含め、4店舗の店主により、商店街加盟店の募集を1店舗1店舗に声をかけをして、現在は16店舗まで会員数が増えました。

東出会長は、「昔のように元気で、賑わいのある商店街として、地域の方に魅力を感じてもらい、還元ができるよう目指していきます」と、ホームページやSNSなどによる促進やロゴマークの制作など、新たな試みにも積極的に取り組み、地元密着型商店街として、会員とともに活動を広げています。

商店街マップ



帰ってきたキュービッドガールズがタワービュー通り商店街を動画レポート
[検索]帰ってきたキュービッドガールズ商店街レポート タワービュー通り編



亀戸線散歩

最終回 fatboy わだ

曳舟川通りを渡る手前から亀戸線は高架になり曳舟駅へと至る。

ホームは短い列車に合わせた小さな車に合わせた小さな車な5番線。本線に遠慮するかの様に端っこに停車する。

基本的はこの専用ホームからの発着となるが、日に一本6時25分発の列車のみ伊勢崎線の特急も停車する4番線から出発する。春日部の車庫からの送り込みの為だ。

そんな時代を偲び両国まで足を伸ばしてみる。

今でこそ亀戸線は支線に甘んじているがかつては東武鉄道のメインルートだった。現在のメインは浅草に向かうルート、押上から地下鉄に乗り入れ都心に向かうルートだが明治期は亀戸線が亀戸から総武鉄道(現JR総武線)に乗り入れて両国(立寄り)は両国橋まで行っていたのだ。

そんな時代を偲び両国まで足を伸ばしてみる。現在の臨時ホームとなつて両国駅3番線はそ

の名城り。行き止まりになつているホームに旅情を感じる。支線となつた亀戸線にたまにしか使われなくなった両国駅3番線。そのどちらにも哀愁を感じる。そんな想いを胸にぶらぶら散歩もまた興なのではないかと思う。

【参考文献】東武鉄道百年史
【協賛】東武鉄道

すみだの魅力に感じてください

すみだの観光情報	すみだの物産品
職人の実演	茶屋でひと休み

産業観光プラザ すみだ まち処

開館時間/10:00~21:00 不定休
時間外は予約により異なります。
TEL 03-6796-6341
東京都墨田区押上1-1-2 東京スカイツリータウン・ソラマチ5F
https://machidokoro.com

チヒロちゃん

「迷子の鳥」
イラスト：藤岡真衣

宿題をしようとして椅子に座り、辞書を開いたチヒロちゃんは音を聞きあげました。辞書から「林檎」の文字が無くなっていました。「葡萄」「梅」の文字もありませんでした。

「チロツト、誰かが窓を叩く音で、チヒロちゃんは顔を上げました。」

「コンチハ、イチノハコノハ、アリスカ、チロコ、チロコ、チロコ」



京島 すみだベリー

「羽の鳥が、窓の隙間から部屋をのぞいてます。」

「ワタシハイチノハタケツヨブド、ワタシノハタケツヨブド、鳥の目はどこか遠くを彷徨うようにしてる。」

チヒロちゃんはおやつのピーナッツを鳥にあげました。鳥はあつとこう間にピーナッツをたいらげるといよいよ沈黙してから口を開きます。

「ワタシハイチノハタケツヨブド、ワタシハイチノハタケツヨブド、まいました。」

チヒロちゃんは声をかけると、鳥は目を覚ましたが、キョトンとしています。どうやら言葉を忘れてしまったようです。

鳥は甲高く声鳴くと、太陽が沈んで行く方へ飛んで行きました。

地球儀がカラカラ回り続けている内に、鳥は目を回して倒れて

【材料】(出来上がり約180cc ≒パスタ2人分)

- 松の実-----30g
- スイートバジル-----30~40g
- んにく-----1片
- パルメザンチーズ-----大さじ1
- オリーブオイル(エキストラバージン)-----120cc
- 塩-----小さじ1/2
- 胡椒-----適宜

【作り方】

- 松の実をフライパンを使い弱火で5分ほどカラ煎りする。焦げやすいので注意する。
- ①の松の実と残りの材料をフードプロセッサーまたはミキサーでソース状になるまで攪拌する。大きく育てた草丈25cm程度の水耕栽培バジル1株分、ちょうど分量のバジルがとれます。

調理のポイント パスタにあえたり、クリームチーズなどと混ぜてディップにしたりして楽しむことができます。たくさん作ったときはチャック付き袋に入れ、平らにのばして冷凍保存できます。

レシピ監修:千葉大学 環境デザイン研究室 グリーンズ 職住近接という墨田区の特徴を生かし、植物で住民・中小企業・商店をつなぐ取り組みを行う。植物工場技術を用いて屋内水耕LED栽培を行い、地域の中で緑を増やし広げる活動。

すみだノートWebサイトでさらに詳しく掲載しています

街と人をつなぐ デザインオフィス

株式会社 下町通信社
東京都墨田区京島3-18-3
☎03-6822-4480
✉info@sumida-note.com

グラフィックデザイン・WEB企画制作
イベント企画運営、すみだノート運営

健康レシピ

フレッシュバジルのジェノベーゼソース

Sunday Paste! Tea Shop
風華小庭でうまれた、おいしい紅茶。

〒131-0046
東京都墨田区京島3-18-3
TEL: 03-6277-7092

下町人情カラカラ橋商店街の
おいしいパン屋
Bakery chow chow
ベーカーリー チャウチャウ

〒131-0046 東京都墨田区京島3-21-7
TEL/03-6657-2065
営業時間/10:00~18:00
定休日/火・水

開館時間/10:00~21:00 不定休
時間外は予約により異なります。
TEL 03-6796-6341
東京都墨田区押上1-1-2 東京スカイツリータウン・ソラマチ5F
https://machidokoro.com

フレッシュベーカーリー・マルエ
熊本屋
リラクゼーションスペース・ほぐすけ
和風居酒屋・琴~koto~

墨田区京島三丁目の「ちぐはぐ」の一軒家

Cghg

ちぐはぐ

Cghgは、墨田区の地域情報紙「すみだノート」編集部が京島三丁目にある平屋を改装して作った、楽しんだり、くつろいだり、味わったり、相談することができる4つのコンセプトが同居する「ちぐはぐ」した一軒家です。是非、気軽にご利用ください。

https://www.cghg.tokyo

検索

人と人、人とまちのつながりを大切に、地域に愛される商店街を目指しています。

墨田区商店街連合会 会長 山田 昇

下町情緒あふれる商店街
墨田区商店街連合会

すみだの思い出

すみだの思い出を語っていただきました

もの創りのまち

近頃、時代・人々・景色が大きく変わって、追体験ができないまちなり、若い方と話が合わなく、悲しいこともあります。

京成曳舟駅近くにあった「原模型は、オモチャという製品が貴重だった頃、私達の夢を叶えてくれるお店でした。模型などのセットもありましたが、部品部材も売ってくれました。私達、お小遣いがない子ども達は、まとまったお小遣いをもらせる友だちに飛行機のセットを買ってもらい、組み立てを手伝いました。完成後にその図



向島百花園内 茶亭さほら 亭主 佐原 滋元

面をもらい、竹ひご等の部品部材の量を割り出し、割安で飛行機を手に入れることができたのです。

ある飲み会で、「オモチャは買う物でなく、作るものだ」という話題になったとき、「原模型」の話題が出てきました。葛飾区や荒川区、台東区などから、自転車をこいで通ったものだ、と、自慢げに語る方や、世代も年長者から若い方とすごい話が飛びました。

思いがけず

帰ってきた町 錦糸町



浪曲師 瑞姫(たまき)

私、瑞姫は江戸川区出身。高校は墨田区の両国高校に通っておりました。進学校として知られた高校ですが、勉強ギライの私は先生方や生徒たちの勉強への熱意や取り組みに圧倒されっぱなし。とはいえ遊びたい盛りですから、自分と同じような先輩や同級生を見つけて遊ぶことばかり考えておりました。

放課後、シエキ100円デーのロッテリアでいつまでもお喋りしたり、授業をこっそり抜け出し、お団子を買に行ったり。あの

和菓子屋さんまだあるかな、美味しかったなァー。

卒業後、錦糸町とは疎遠になってしまいましたが、浪曲師になり、3年前から始めた河内首領がきっかけで恒例・錦糸町の大盆踊りに出演させていただき、不思議な縁に驚いています。

Sumida no cafe

～墨田カフェ探訪～

墨田区のおしゃれなカフェや老舗喫茶店など、美味しいドリンクやスイーツをいただきながら至福のひとつを過ごせるカフェをご紹介します。



純喫茶マリーナ

向島2丁目、見番通りに店を構える純喫茶マリーナは、昭和48(1973)年創業の老舗の喫茶店。店内は、船をモチーフにしたつくりで、ゆったりとソファーにくつろぎながら食事やコーヒーを楽しむことができる。30種以上あるメニューは、すべて具材から手回しまかけた手作りによるもの。創業時から変わらぬ味の看板メニューの「鉄板ナポリタン」やホタテやエビ・イカなどを煮込んで卵でとじた「マリーナ丼」も30年以上愛されている一品。長年、地元のお客様に愛されながらも、初めてのお客様も気持ち良く迎えてくれる。昭和の風情を楽しみながら、懐かしい味に舌鼓してはいかが。

東京都墨田区向島2-10-2 メイゾン向島1F TEL: 03-3625-8838
営業時間: 8:00～19:00 (L.O 18:30)
定休日: 土曜・不定休

※新型コロナウイルスの感染拡大防止により、営業日時、メニューの変更がある場合があります。お出かけの際は、ホームページ等をご確認ください。



すみだノートについて

東京スカイツリーの開業以来、より多くの人に認知され、訪問されるようになった墨田区。もとより墨田区は、人・文化・伝統・産業・名所・お店・イベントなど、多彩な魅力を持ち備えたまちです。そんなまちの魅力を紹介して墨田区の良さを再発見し、私たちの住むまちをもっと好きになることで、まちはさらに元気になり、活性化していくはず。等身大の墨田区の情報発信する「すみだノート」は、春・夏・秋・冬の年4回発行。皆様が気軽に手に取れるように、区内の店舗や施設で配布します。次号以降も編集部一同、読者の皆様に愛される紙面づくりに取り組んでいきます。今後ともご愛顧のほど、よろしくお願いいたします。

下町通信社「すみだノート」編集部

編集後記

私も、家のベランダで園芸を楽しんでいます。春はチューリップやムスカリを。夏には朝顔や夏野菜を収穫したりしています。

私が園芸を楽しむなんて思ってもいなかったのですが、子供がいると夏休み間、小学校から家に持ち帰ってくる朝顔や夏野菜の栽培などを手伝っているうちに、何となく季節ごとにベランダを彩りたくていた草花が無いと物足りないと言いか、寂しいと言いか……。で、ホームセンターに行くと仕入れてくるわけですが、根がズボラなので当然うまくいかない場合もあります。そんな時は本当に申し訳ない気持ちになるのですが、また性懲りも無く新しい種や苗を買ってしまうのです。

すみだのまち中でも、とても上手に花を咲かせているお家や、家と共に歴史を感じる、みかんや柿の木などを見るときつい足を止めて見入ってしまいます。



すみだノート ホームページのご案内

墨田区の地域情報・イベント情報・お店の案内・生活情報などをお伝えする「すみだノート」ホームページもご利用ください。限られた紙面では伝えきれなかった情報や、日々のイベントの取材記事も掲載しています。「すみだノート」フリーペーパーと併せてご覧いただき、墨田の新しい魅力に出会ってください。



<https://www.sumida-note.com>

すみだノート

検索

すみだノート会員募集中!

～すみだノートは、サポート会員のご協力により発行しています～
「すみだノート」は地域の皆様と一緒に良質な情報を発信する媒体を目指しています。そのため、「すみだノート」の趣旨にご賛同いただき、ともに地域の活性化を目指す、企業・商店の皆様のサポートを募っています。ぜひ、ご参加をお願いいたします。

●すみだノート会員

特典:「すみだノート」フリーペーパー(季刊紙)年1回広告掲載(1枠)
「すみだノート」Webサイトにて店舗・会社紹介を掲載
会費:月額2,500円(税別)初年度に限り一括払い ※年間契約となります。

●すみだノートWeb会員

特典:「すみだノート」Webサイトにて店舗・会社紹介を掲載
会費:月額1,000円(税別)初年度に限り一括払い ※年間契約となります。

●フリーペーパー広告掲載費

広告枠:1枠 75mm×58mm 30,000円(税別)～